



ようこそ、さよなら



NETFLIX オリジナルシリーズ

今際の国の アリス

12月10日 (木) 独占配信スタート

NETFLIX

AIB press vol. 3

さよなら、ようこそ



肉 体 型



ご挨拶

平素より大変お世話になっております。

世界最大級のオンラインストリーミングサービスを提供する Netflix は

山崎賢人、土屋太鳳W主演、佐藤信介監督最新作、

Netflix オリジナルシリーズ「今際の国のアリス」を

2020年12月10日(木)より全世界独占配信いたします。

本作「今際の国のアリス」の最新情報と魅力をお伝えするため、

全4回(予定)のプレスをお届けして参ります。

空っぽのディストピアとなった東京を舞台に、

現代(いま)を生きる若者たちが織りなす人間ドラマ、

Netflix オリジナルシリーズ「今際の国のアリス」に

ぜひご注目ください。

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

「今際の国のアリス」宣伝

Netflix 中島啓子 土井祐弥

山森加容子

マンハッタンピープル 三原知之 田中孝明 原悠仁 石村千 新井麻美

満井康平 川崎楓

希望を武器に Introduction

「生きる」ことに曖昧な現代で、
正面から「命」に向き合う超大作が完成!

渋谷から人影が完全に消えた……!

Netflixオリジナルシリーズ「今際の国のアリス」は、あらゆる点で視聴者の想像を鮮やかに塗り替え、怒涛の勢いで更新していく、とてつもない映像作品だ。

常に優秀な弟と比べられてきたことで夢や目標を失った有栖良平(アリス)。高校時代からの仲間である社員のチョータとバーテンダーのカルベもまた、それぞれに漠然とした不満を持って余しながら日々を過ごしていた。そんな、「生きる意味」を見出せないアリスたちが、ある日突然放り込まれた“今際の国”。見慣れた渋谷でありながら誰一人いない街の様子に驚きつつも、煩わしい家族の目も、面倒な上司もいない世界の解放感に喜ぶ3人。しかし、唐突に命を懸けた“げえむ”が始まり、彼らは世界が完全に変わってしまったことを知る。どうやらこの“今際の国”で生きるためには、様々な“げえむ”に参加し、クリアしなければならないらしい。理不尽な状況に戸惑いながらも、ゲームが天才的に得意なアリスは眠っていた観察力と判断力を開花させ、仲間と共に危機を脱する。やがて、たった一人で“げえむ”に挑み続けるクライマーの宇佐木柚葉(ウサギ)と出会い、自分一人が生き残るだけでなく、他者と協力し、全員が“げえむ”をクリアするために立ち向かうことを決意する。空っぽのディストピアとなった東京を舞台に、「生きる」意味を見出せなかった若者たちが、かつてないほどに「生きる」ことに正面から向き合っていく成長の物語。そして先読み不能のめまぐるしい展開。未知なる世界の全貌が徐々に見えてくるスリル。頭脳も肉体もフル稼働しなければ立ち向かえない“げえむ”の新感覚と、VFX、美術、撮影により緻密に計算されたニューワールドの創造。個性豊かなキャラクターたちが極限状態で織りなす人間ドラマ。あらゆるファクターが、観る者すべてを画面に釘付けにする。

4度目の共演となる山崎賢人と土屋太鳳をW主演に迎え、常に新しい挑戦を続けてきた佐藤信介監督がメガホンをとる本作には、どんな映画でも味わえなかった興奮と、どんなドラマでも体験できなかった高揚が待ち受ける。

日本発のNetflixオリジナルシリーズとしては初となる、破格のスケールで贈る新たなドラマシリーズ「今際の国のアリス」が遂に誕生!世界190カ国に独占配信される全8話は、映像の歴史を大胆不敵に変革するだろう。

絶望と戦え

Episode 1

優秀な弟と比較され、鬱々とした日々を送るアリス。いつものように親友のチョータとカルベと渋谷に集まると突然、世界が一変。無人と化した東京に戸惑いながらも解放感にはしゃぐ3人は、迷い込んだビルで行われた“げえむ”「生きるか死ぬか」で、まさに命を懸けた選択を迫られる。そこで出会ったシブキから、“げえむ”をクリアし、受け取ったトランプの数字の分だけ“ビザ”が発行されて生きることができるといふ、この世界のルールを教えられる。

Episode 2

ケガを負ったチョータを助けるため、休む間も無く新たな“げえむ”に挑むアリスとカルベは、クライマーのウサギと出会う。トランプのマークが“げえむ”の種類を表すことを知ったアリスたちは、廃墟となったマンションでのスベードの“げえむ”「おにごっこ」に挑む。参加者たちがパニックに陥る中、アリスは眠っていた才能を開花させる。他人を助けようとするアリスに興味を抱き、観察するチシヤ。そしてカルベは、“ビーチ”という場所の存在を知る。

Episode 3

“ビザ”の期限が迫り焦るチョータ。そんな彼にアリスやカルベへの不信をささやくシブキ。親友同士の関係性が少しずつ変化する中で参加した「かくれんぼ」は、人の心を弄ぶハートの“げえむ”だった。暗い植物園の中での「かくれんぼ」で、お互いに疑心暗鬼となり恐慌状態になるアリスたち。友情と、自らの生存本能を試された3人が出した究極の答えとは…?

Episode 4

生きる気力を失ったアリスは、ウサギと再会。あえて仲間を作らず孤独に“げえむ”に挑んできた彼女だったが、自分を危険に晒してでも「おにごっこ」で他者を助けようとしたアリスを放っておかず、次の“げえむ”で「生き抜く」ことを誓い合う。そしてアリスは、カルベから聞いた“ビーチ”に行けばこの世界の謎が解けるのではと考え、ウサギと共に“ビーチ”を目指す。

NETFLIX オリジナルシリーズ

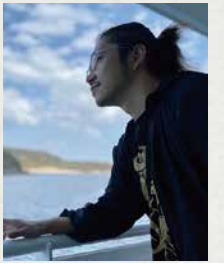
今際の国の アリス



12月10日(木)
独占配信スタート

NETFLIX

Interview ——— 原作者 麻生羽呂先生



Q: 映像化、実写化が決定した時の気持ちは?

元々脚本家になりたいと思ったほど、映像作品が一番好きな表現媒体だったので、自分のアイデアが映像になることは本当に光栄でした。

Q: 映像化にあたり、佐藤監督にリクエストされた部分はありますか?

全くないです。自分の本分は本にするまでで、それを映像にしたいと言ってもらえた以上その先はもうお任せしようと思っていました。

Q: 実際に映像をご覧になっていかがでしたか?

1シーン1シーンが映像化されているだけで感無量でした。特に、あの渋谷が凄かったです。映像関係の友人たちから、渋谷は絶対撮れない、ロケができないという話を聞いていたので。セットも見に行きましたが、歩いているだけで感動しました。信号機の色や通行人を消すなど、VFXのレベルの高さにも圧倒されました。あの凄さを是非見る人たちに味わってもらいたいです。

Q: 知力や体力など人間な色々な能力を試す、様々な種類の“げえむ”の発想はどこから得たのですか?

「この“げえむ”では、このキャラクターがこういう風になる話を描きたい」というふうに、まずドラマを作るんです。するとそれを乗り越える葛藤やテーマが見えてきて、それが最後にカタルシスになるような“げえむ”を考える。キャラの成長後のラストから逆算して作る、というふうにしていました。

Q: キャラクター一人一人に、すごく共感できる部分があります。モデルはいるのでしょうか?

どのキャラクターにも、自分の中のどこかの部分が投影されていると思っています。自分の嫌いな部分は敵に回したり、都合のいい部分は主人公側に乗せたり。担当編集者から、アリスとチョータとカルベは僕を三等分したみたいだね、と言われました。

Q: アリスをあえて自信のない、無気力な若者にした狙いは?対照的に、一人で生きていく強さを持つウサギのイメージはどこから?

作品の構想は二十歳の頃のもので、当時の自分を思い出して、ウジウジしたりダメだった部分を抽出してできたのがあのアリス像でした。自立したソリストというウサギのイメージは僕の好みですね。アリスの道標となるには、一人で生きていく力を持つ対照的なパートナーが必要だと思いました。山崎さんと土屋さんにお会いしましたが、二人とも生来備わったいい部分が演技に出ていると感じました。

Q: 一番印象に残ったシーンは?

植物園でのかくれんぼのシーンですね。実写には途方もない量の情報があり、すごく説得力がある。こういうのを漫画でやりたかったという世界を目にして嬉しかったですね。

Q: 今、この作品が映像化された意味とは、どう思われますか?

1巻が出たのが、2011年の東日本大震災の翌月でした。甚大な被害を目の当たりにし、フィクションなど読まなくてもみんな生死の問題を突きつけられたわけです。ところが担当編集者は、こういう時代だからこそしっかり受け止めて読まれるのではないかと。この作品を見て、ずっと生きられるわけではないことを見つめ直してもらえたらと思います。生きるか死ぬかについてどういう価値観を持つか正解はないけれど、考えたことがあるかどうかで、何かあった時に芯がずれにくくなると思います。

Inside Stories

「渋谷」へのこだわり

喧騒に満ち溢れた街が、一瞬で無人の廃墟と化す圧巻のシーンの舞台として「渋谷」を選んだのは佐藤監督。過去の作品で何度か、渋谷での撮影を構想したものの実現には至らなかった監督の、「日本で一番有名な場所は、渋谷のスクランブル交差点」というこだわりが遂に本作で実現！

こだわりのスピード

Episode4、「ディスタンス」で印象的な、大迫力の水のシーン。実際の水のスピードは人の全速力を超えてしまうため、「飲み込まれそうで飲み込まれない速さ」を表現するため、何度もリトライが重ねられた。

「不思議の国」と「今際の国」

ルイス・キャロルによる「ふしぎの国のアリス」がモチーフにした原作は、各キャラクターもそれぞれ「ふしぎの国～」の登場人物になぞらえた性格となっている。自分を見失ったアリスを導くウサギ。シニカルなチンパン、狂気をはらんだボーシヤ…。それぞれ照らし合わせてみるのも楽しみ方のひとつとしておすすめ！



美術とVFXでできた「あの木」

渋谷駅東口の交番近くに植えられている大きな「木」。普段は意識してなくても、無ければ違和感が生まれてしまうあの「木」。実際の木を植えても枯れてしまうため、幹を美術スタッフが作り、他の部分はVFXチームが作成することで、細部にまで拘った「いつもの渋谷」の風景が再現されている。

クロヒョウは黒くない

Episode4でアリスたちに襲いかかるクロヒョウ。関わるVFXチーム全員で何度も動物園に行き観察と記録を繰り返したという。ただ、暑さのためなかなかクロヒョウが動いてくれないという苦労も…。しかし丁寧な観察により、実は黒いだけではなく、茶色い豹柄が角度によって真っ黒に見えるという細かい質感を発見し、よりリアルな表現へと繋がった。

突然現れた「トラ」

Episode5でアグニたちが参加する「げえむ」に登場するトラ。最初は予定になかったものの絵コンテで突如現れたため、VFXチームの間で「うわ！トラが出てる！」と騒然となったとか…。

原作：麻生羽呂「今際の国のアリス」（小学館「少年サンデーコミックス」刊）

監督：佐藤 信介

出演

山崎賢人 土屋太鳳

村上虹郎 森永悠希 町田啓太 三吉彩花 桜田通 朝比奈彩 柳俊太郎 渡辺佑太郎
水崎綾女 吉田美月喜 阿部力 金子ノブアキ 青柳翔 仲里依紗

製作：NETFLIX

エグゼクティブ・プロデューサー：坂本和隆

プロデューサー：森井輝

ラインプロデューサー：高瀬大樹

企画・制作プロダクション：株式会社ロボット

© 麻生羽呂・小学館/ROBOT

脚本：渡部辰城、倉光泰子、佐藤信介

GAFFER：小林仁

スタイリスト：額縁春樹

音楽：やまだ豊

DIプロデューサー/カラーグレーダー：齋藤精二

ヘアメイク：本田真理子

撮影監督：河津太郎

美術：大西英文

特殊造形：藤原カクセイ

美術監督：斎藤岩男

装飾：平井浩一、山岸正一

キャスト：緒方慶子

アクション監督：下村勇二

編集：今井剛、金田昌吉

助監督：山岸一行

VFXスーパーバイザー：神谷誠、土井淳

操演：関山和昭

制作担当：桜井恵夢

録音：横野一氏工

ガンエフェクト：納富貴久男

撮影：島秀樹

スクリプター：吉野咲良

Information

[コンテンツプレビューのご案内]

本作品はマスコミ向けオンライン先行視聴システム、コンテンツプレビューをご用意しております。

コンテンツプレビューとは、Netflix上で配信前の作品を先行視聴し、作品介绍やレビューにご活用頂ける全世界共通のマスコミ向けシステムです。

コンテンツプレビューのご利用には

Netflixへのご加入とメディアセンターへのご登録が必要となります。

ご視聴をご希望の方は、下記宣伝までお問い合わせください。

【宣伝問い合わせ先】マンハッタンピープル

紙・電波：新井、石村、原、田中、三原 WEB：川崎、満井
TEL：03-6215-6220 E-mail：aib@manhattanpeople.co.jp

『今際の国のアリス』プレス Vol.4



12月の発送を予定しております